

2020年東京オリンピック・パラリンピックへの準備日程とその内容そして我々の取り組みについて

2015年6月

1. 東京オリンピック・パラリンピックを取り巻く客観的な状況について

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックは昨年从我々が指摘しているようにオリンピック史上初めての高齢社会の中で開催されます。そこでは高齢者の健康問題が大きな課題となり、オリンピックを健康で応援していこうというテーマが大きく出てくると思われます。また、年々下がっている子どもたちの体力の向上もテーマになってくるのではないのでしょうか。

オリンピックで多くのメダルを獲得するための選手の強化と共に今回のオリンピックの課題と言えます。

そして、50年前の先の東京オリンピックの後に国民の体力向上運動として展開された全国的なウォーキング運動が、今回は東京オリンピックに向けて展開されると思われます。

2. 東京オリンピック・パラリンピックに向けた日程等の予想について

2020年東京オリンピック・パラリンピックは、2016年8月のブラジル・リオデジャネイロオリンピック終了から本格的な準備が始まると思われます。

そして、2015年はモデル事業が開始され、2016年より本格的な準備作業が開始されると思われます。オリンピックの支援に必要なボランティアの募集と選抜、そして訓練もこの時期から開始されるのではないのでしょうか。

その上で、2017年～2018年にかけて段階的に盛り上がり開始され2019年にプレ大会が開催されるのではないのでしょうか。

2020年はオリンピック・イヤーとして1月から様々な行事が開催され、8月のオリンピックに向けて盛り上がり企画されていくのではないのでしょうか。

そうすると、オリンピックに関連するウォーキング・イベント等も2016年あたりから開始されると思われます。

3. ウォーキングを取り巻く状況の予想について

2020年東京オリンピックに向けた国民体力向上運動、特に高齢者向けの運動は、様々なスポーツ競技やニュースポーツなども対象となると思われますが、最終的にはいつでも・だれでも・どこでも簡単に参加でき人気のあるウォーキングの展開に集約され、全国的な健康ウォーキング運動参加が提唱されるのではないかとと思われます。

そして、それは全国、神奈川県、各市区町村レベルの運動としてそれぞれ展開されていくのではないかとと思われます。なぜならばウォーキングは競技スポーツと違い誰でも簡単に組織化することが出来るからです。

そうすると様々なウォーキングの中で注目を集めるのは、単に一回限りのウォーキング大会ではなく、2020年東京オリンピックに向けて段階的に健康ウォーキングの効果的な組織化とその発表にポイントがあるのではないかとと思われます。

そして、ウォーキングは全国すべてをまとめる場所がないと思われるので、各ウォーキング団体が自分の得意な地域と内容と早く把握し、それを展開できる対象地区を確保したところがそれぞれの地域でリードしていくのではないかとと思われます。

4. 我々が取り組むべき課題とその日程について

そのためには、我々はまだこのような動きが活発化していない2015年の早い段階で準備と宣伝を展開する必要があります。また、2015年中に今までの取り組みの全てと組織のあり方を再編し、2020年8月オリンピックに向けて段階的な展開として再組織していく必要があると思われます。スタッフと参加者をグループ単位で有効に活動し成果を発表する体制づくりを早急にめざす必要があります。

特に、市区町村レベルでは2020年東京オリンピックに向けた協働事業として「健康ウォーキング教室」等のテーマが採択される可能性が高く、そのための各事業への企画、講師派遣、効果発表、参加者のグループ化などが展開できる体制づくりを急いで確立することが求められていると思われます。